市民音頭制作専門委員会(市民音頭制作)

委員会報告/会合8回

歌詞を公募し、全国 から42点の応募があ りました。選考基準を 定めましたが、第1次 審査、さらに第2次・



3次審査においても優秀作品ばかりで難航しました。

作曲は、市内在住の作曲家三原聡氏にボランティア 制作いただき、何度も調整を重ねました。振付けは、 市内11の踊りグループ代表が行い、市民誰もが踊り

市民音頭

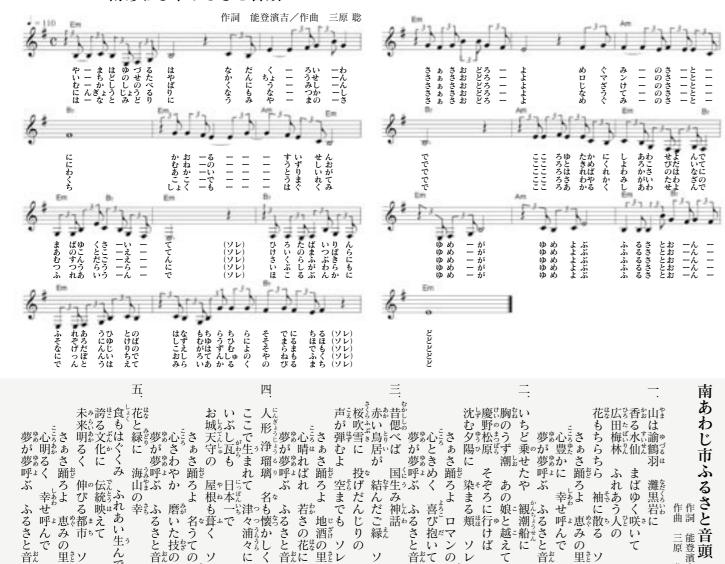
市民が一つの音頭を通じて、地域の連帯感の醸成と健康増進を図ります。



やすい踊りを考案しました。今後も踊り指導は、市内 の踊りグループに行っていただく予定です。披露・普 及のため、市内の民謡・伝統芸能グループと三味線指 導者が演奏の練習を行っています。

歌詞選考結果▶最優秀賞=能登濱吉 (埼玉県) ▶特別賞=大野 清 (洲本市) ▶佳作=柏木勝代 (南あわじ市)、清水晴望 (洲本市) 、 栄 孝治 (南あわじ市)、村上 均 (南あわじ市)、駒井 瞭 (大阪府)、稲岡俊一 (東京都)、吉岡敬一郎 (群馬県) <敬称略>

南あわじ市ふるさと音頭





まちのシンボルは旧4町でも指定されていたので、 合併直後から問い合わせが多数ありました。まちの特 性を端的にイメージするものとして、皆さまに親しみ と愛着をもっていただけることを主眼に選定しました。

市の木

くろまつ **「黒松」**



科名:マツ科、属名:マツ属 【選定理由】

慶野松原は昭和3年、日本の名勝として指定されています。「日本の白砂青松 100 選」にも慶野松原と吹上浜が選ばれています。松原の黒松は、樹勢が強く観光の観点からも知名度があります。特に淡路黒松は、樹皮の切れ込みが深いのが特徴です。暑さ寒さに強くたくましく成長する松は、市を象徴する木にふさわしいとして選定しました。

シンボル専門委員会(市の花・木選定)

委員会報告/会合6回

委員会で候補として提案した花は、「水仙、梅、つつじ、菊」でした。歴史や文化、生息数、希少さ、なじみやすさ、観光振興、保存伝承などを考慮し毎回議論を重ね、水仙に決まりました。

水仙は種類が多いこともあり、灘黒岩水仙郷の日本 水仙が、花弁中央の杯部が大きく、黄色が濃いという 特徴をもっていることから、あえて日本水仙としまし た。

木についても、最後まで絞り込みが難航しました。 提案された木は、「松、ゆずりは、うばめがし、梅、や

市の花・木

恵まれた自然や美しい景観を守り、次世代に伝えるとともに、観光の振興や地域の活性化をめざします。

市の花

に ほんすいせん 「日本水仙」



科名:ヒガンバナ科、属名:スイセン属 【選定理由】

淡路島南部の灘黒岩水仙郷は、日本水仙三大群生地として知られています。45度の急斜面に500万本が咲き乱れる光景は、全国に誇れるすばらしい自然景観で、冬にいち早く春の訪れを告げる花として、観光拠点となっています。また、地元では「ちょこ水仙」の愛称で親しまれています。この自然遺産を守り続けるうえにおいても、市を象徴する花として選定しました。



まぼうし」など数多く、議論が白熱しましたが、市民 の親しみや観光振興を優先して黒松を選定しました。

選定するシンボルも、「鳥、魚、野菜、ホタル」などの候補もありましたが、その特殊性や認知度、産業振興等と区分し、最終的に花と木に限定しました。